

2 研究の実際 > (2) トラブルについての実態調査

イ 実態調査の結果と考察(小学校)

<頻度の高いトラブル(質問⑦)>

予備調査の結果を基に抽出したトラブルの32場面について、「あなたのまわりの様子に近いもの」として、「よくある」「ときどきある」「あまりない」「まったくない」の4件法で調査を実施しました。

調査対象期間は、4月から9月までの6か月間にしました。

以下は、「よくある」と「ときどきある」の合計の多いトラブル上位5場面についての集計結果を挙げたものです(図1)。

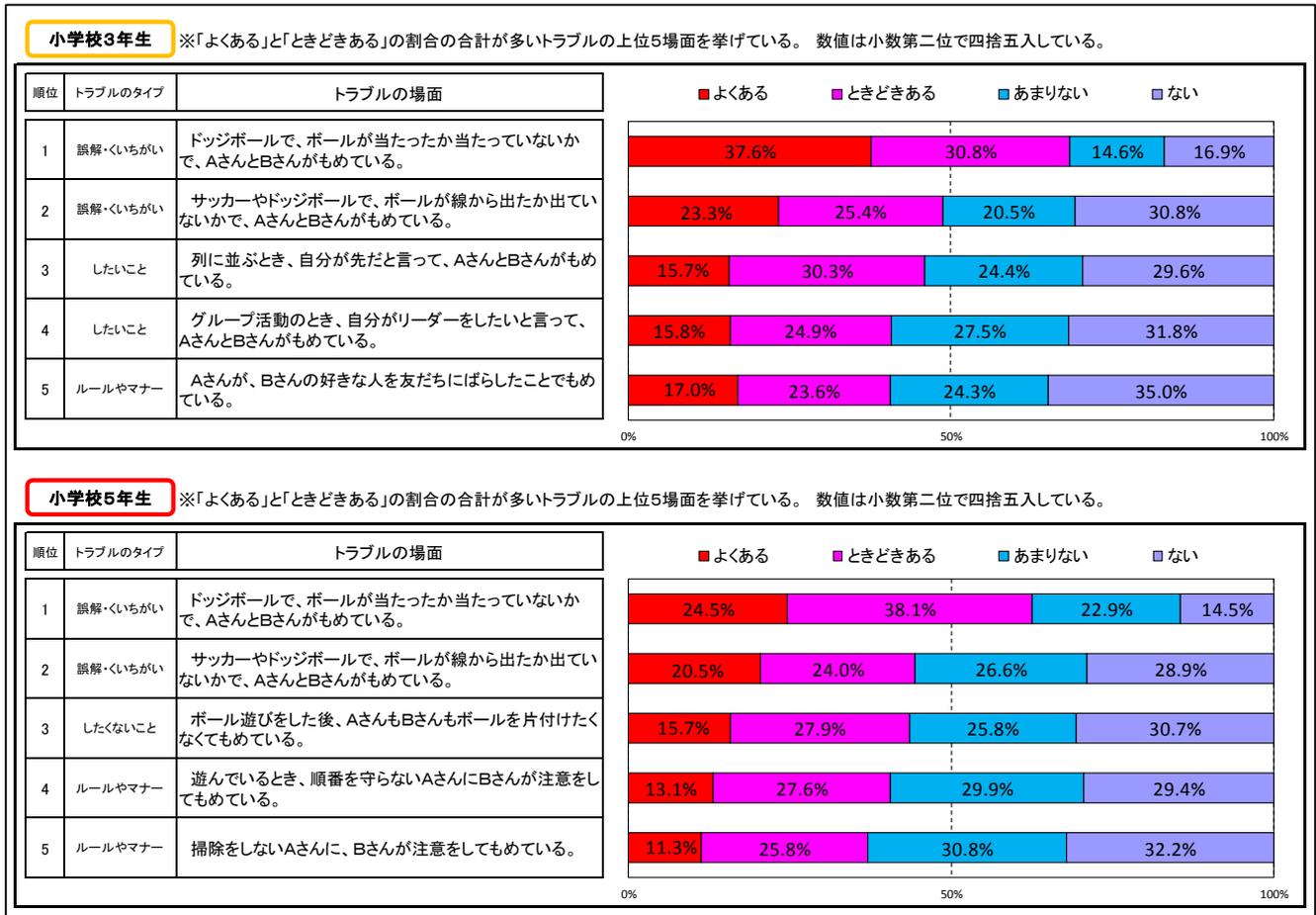


図1 頻度の高いトラブルの上位5場面

小学校では、トラブルの場面で見ると、**ドッジボールやサッカーなど、多人数の活動の中でのトラブルが多く見られました。**また、5年生では「ボール遊びの後片付け」「遊びの順番の注意」など、**休み時間におけるトラブルも多く見られました。**さらに、タイプ別に見ると、3年生で「誤解・くいちがい」と「したいことに関する主張」が2場面ずつ、5年生で「誤解・くいちがい」と「ルールやマナーに関する意識」が2場面ずつありました。

これらのことから、**多人数で活動している場面や大人の目の届かない場所という環境で、自分の意見や考えを言い合ってトラブルが起きていると考えられます。**特に、**多人数で活動している場面では、勝負に対してのこだわりが影響していると考えられます。**そこで、**自分の意見や考えを伝える際に、トラブルにならないような話し方のスキルを身に付けることが必要であると考えます。**

<声掛けの意識が高いトラブル(質問④)>

予備調査の結果を基に抽出したトラブルの32場面について、「もし、トラブルがあったとしたら、あなたは間に入って声を掛けることができると思うか」として、「思う」「少し思う」「あまり思わない」「まったく思わない」の4件法で調査を実施しました。

以下は、「思う」と「少し思う」の合計の多いトラブル上位5場面についての集計結果を挙げたものです(図2)。

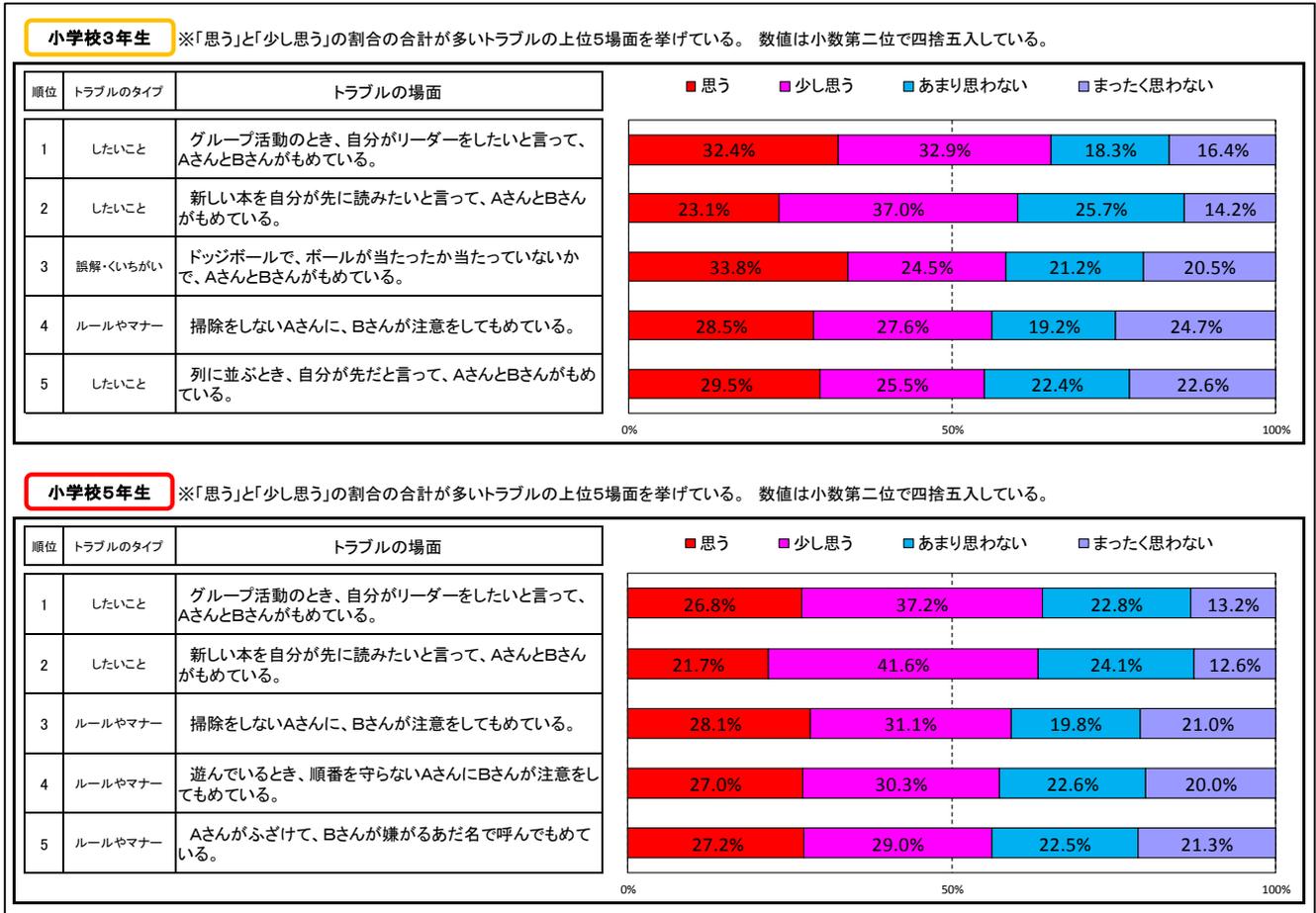


図2 声掛けの意識が高いトラブルの上位5場面

小学校では、上位全てのトラブルの場面で、声掛けの意識の割合は50%を超えていました。

このことから、児童は**状況や場面に関係なく、多くのトラブルの場面で声を掛けることができると思っている**ことが考えられます。そこで、この**児童の声掛けの意識を生かして、児童が実際に行動に移すことができるようにする必要があります**と考えます。



<頻度の高いトラブルと声掛けの意識の関連性(質問⑦と質問⑧)>

質問⑦で提示されたトラブルの場面について、「あなたのまわりの様子に近いもの」として「よくある」「ときどきある」と回答した児童、「あまりない」「まったくない」と回答した児童のそれぞれについて、質問⑧の「もし、トラブルがあったとしたら、あなたは間に入って声を掛けることができると思うか」に「思う」「少し思う」と回答した児童、「あまり思わない」「まったく思わない」と回答した児童の割合を集計しました(図3)。

以下は、質問⑦で「よくある」と「ときどきある」の合計の多いトラブル上位5場面についての集計結果を挙げたものです(図4)。

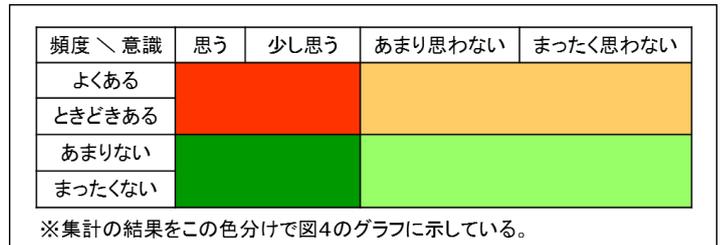


図3 グラフ(図4)の見方

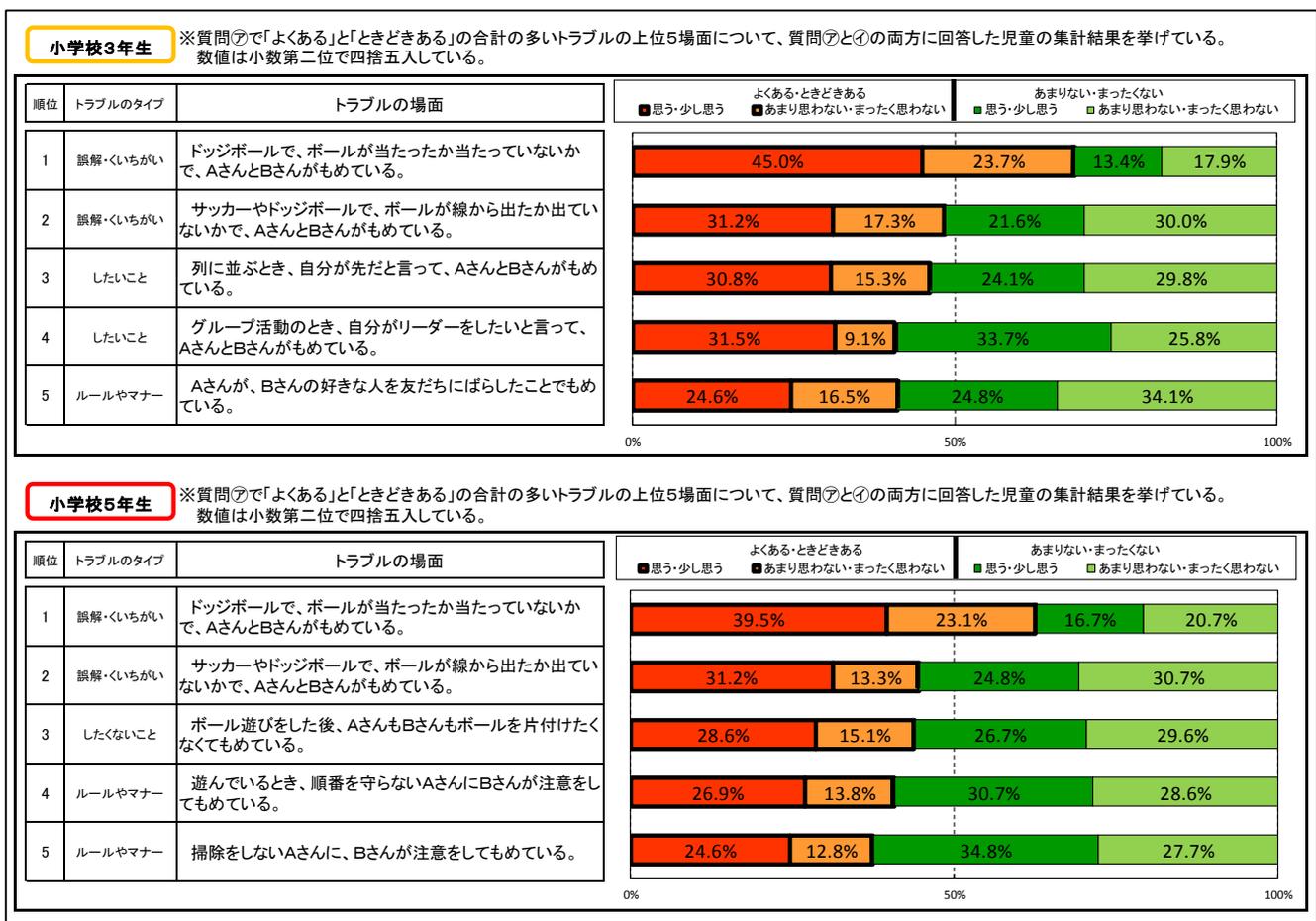


図4 頻度の高いトラブルの上位5場面における声掛けの意識

小学校では、3年生と5年生における頻度の高いトラブル上位5場面で、そのトラブルが「よくある」「ときどきある」と回答した児童のうち、声掛けの意識で「思う」「少し思う」と回答した児童の割合が50%を超えていることが分かりました。

このことから、**毎日の学校生活において多くの児童が経験するトラブルにおいては、解決しようと試みる機会も多い**ため、声を掛けることができると考えている児童が多いと考えられます。そこで、**トラブル未然防止やトラブル解決のスキル学習を行う際に、多くの児童が経験するトラブルの場면을用いて学習することが有効である**と考えます。

＜怒りへの対処法＞

小学校では、怒りへの対処法として、3年生では「親に話す」(53.3%)、5年生では「友だちに話す」(55.1%)と回答した児童が多いことが分かりました。

このことから、3年生では親を一番身近に感じていること、5年生では友達に話すことで気持ちが落ち着くことが考えられます。学年が上がると「友だちに話す」が増えていることから、小学校上学年において、怒りを感じたときには友達に話すことで気持ちが落ち着く児童が多いことが考えられます。そのため、話している友達の気持ちが落ち着くような話の聴き方について学ぶ必要があると考えます。

また、3年生と5年生で共通する上位の選択肢は、「ゲームや音楽などで気を紛らす」(3年生 44.8%、5年生 53.2%)と「我慢する」(3年生 49.9%、5年生 50.3%)でした。このことから、**学校で一人でできる怒りへの対処法について学ぶ必要がある**と考えます。

さらに、3年生では「一人になれる場所へ行く」(40.1%)、「これからどうするか考える」(37.8%)、5年生では「一人になれる場所へ行く」(42.2%)、「運動などで身体を動かす」(31.9%)など、自分も相手も傷付けないように上手に怒りに対処している児童もいることが分かったため、児童同士で怒りへの対処法を共有することが必要であると考えます。一方、「我慢する」と回答した児童が3年生、5年生共に50%前後いることや、「自分を傷つける」、「メールやSNSに書き込む」と回答している児童がいることから、**自分も相手も傷付けない対処法を学ぶ必要がある**と考えます。

＜小学校3年生集計結果＞

トラブルの場面について

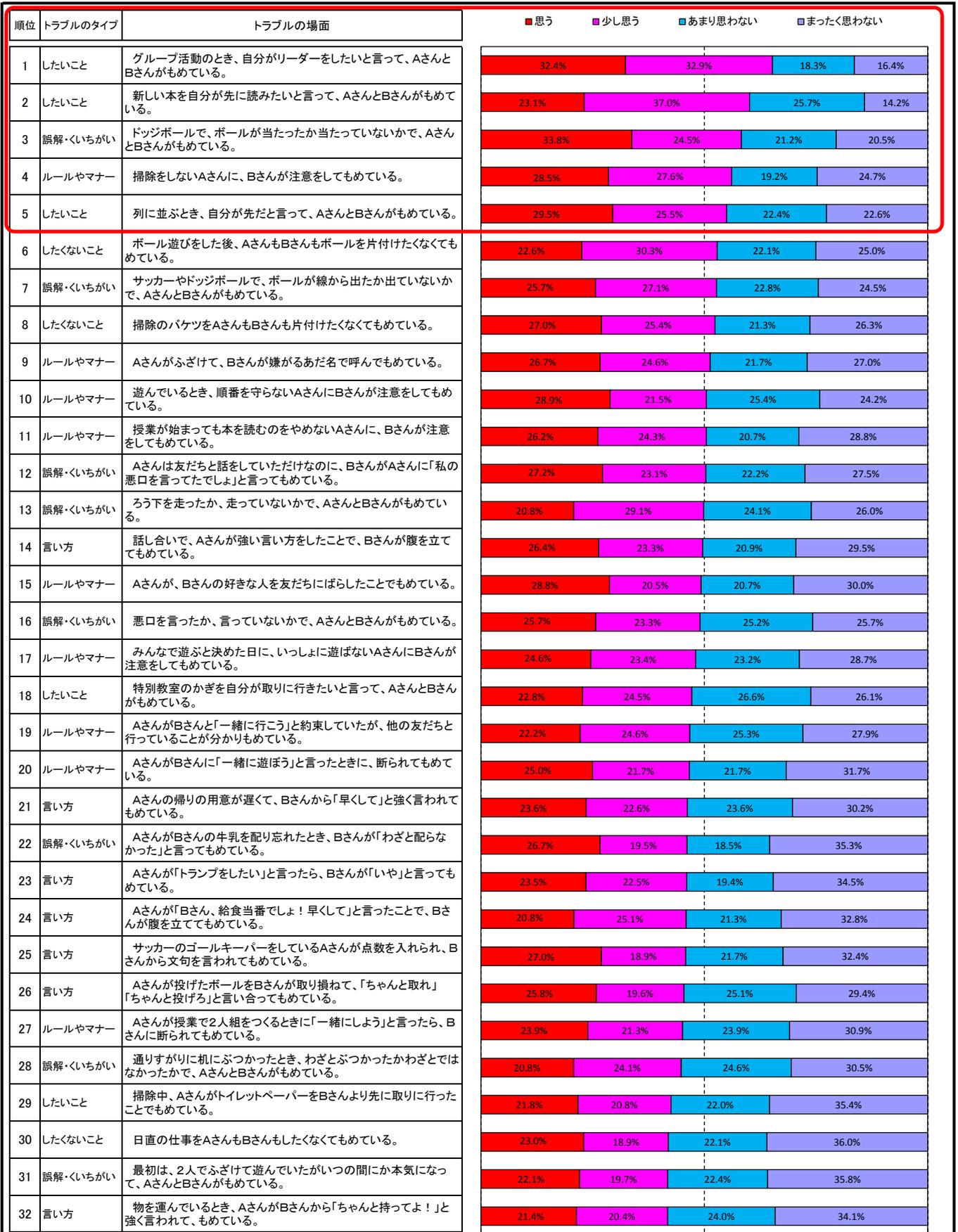
質問⑦ ①～⑳のトラブルの場面について、4月から今までのあなたの周りの様子を選んでください。

順位	トラブルのタイプ	トラブルの場面	■よくある	■ときどきある	■あまりない	■ない
1	誤解・いちがい	ドッジボールで、ボールが当たったか当たっていないかで、AさんとBさんがもめている。	37.6%	30.8%	14.6%	16.9%
2	誤解・いちがい	サッカーやドッジボールで、ボールが線から出たか出していないかで、AさんとBさんがもめている。	23.3%	25.4%	20.5%	30.8%
3	したいこと	列に並ぶとき、自分が先だと言って、AさんとBさんがもめている。	15.7%	30.3%	24.4%	29.6%
4	したいこと	グループ活動のとき、自分がリーダーをしたいと言って、AさんとBさんがもめている。	15.8%	24.9%	27.5%	31.8%
5	ルールやマナー	Aさんが、Bさんの好きな人を友だちにばらしたことでもめている。	17.0%	23.6%	24.3%	35.0%
6	ルールやマナー	遊んでいるとき、順番を守らないAさんにBさんが注意をしてもめている。	14.2%	26.2%	25.9%	33.7%
7	ルールやマナー	掃除をしないAさんに、Bさんが注意をしてもめている。	12.7%	26.1%	29.6%	31.7%
8	ルールやマナー	授業が始まって本を読むのをやめないAさんに、Bさんが注意をしてもめている。	14.8%	22.8%	23.0%	39.4%
9	言い方	話し合いで、Aさんが強い言い方をしたことで、Bさんが腹を立ててもめている。	14.7%	22.6%	26.4%	36.3%
10	ルールやマナー	Aさんがふざけて、Bさんが嫌がるあだ名で呼んでもめている。	13.4%	23.4%	26.5%	36.8%
11	誤解・いちがい	ろう下を走ったか、走っていないかで、AさんとBさんがもめている。	10.8%	23.6%	27.6%	38.0%
12	ルールやマナー	みんなで遊ぶと決めた日に、いっしょに遊ばないAさんにBさんが注意をしてもめている。	12.2%	21.5%	25.8%	40.5%
13	言い方	Aさんが投げたボールをBさんが取り損ねて、「ちゃんと取れ」「ちゃんと投げろ」と言い合ってもめている。	8.8%	23.3%	29.2%	38.7%
14	言い方	サッカーのゴールキーパーをしているAさんが点数を入れられ、Bさんから文句を言われてもめている。	12.3%	18.9%	17.0%	51.9%
15	誤解・いちがい	悪口を言ったか、言っていないかで、AさんとBさんがもめている。	9.4%	19.9%	26.5%	44.3%
16	したくないこと	ボール遊びをした後、AさんもBさんもボールを片付けたくなくもめている。	9.2%	19.8%	25.5%	45.5%
17	言い方	Aさんの帰りの用意が遅くて、Bさんから「早くして」と強く言われてもめている。	10.6%	17.8%	26.5%	45.1%
18	ルールやマナー	AさんがBさんと「一緒に行こう」と約束していたが、他の友だちと行っていることが分かってもめている。	10.1%	17.6%	29.9%	42.4%
19	誤解・いちがい	Aさんは友だちと話をしていただけに、BさんがAさんに「私の悪口を言ってたでしょ」と言ってもめている。	8.0%	18.4%	30.2%	43.4%
20	言い方	Aさんが「Bさん、給食当番でしょ！早くして」と言ったことで、Bさんが腹を立ててもめている。	9.2%	17.1%	20.9%	52.8%
21	したいこと	新しい本を自分が先に読みたいと言って、AさんとBさんがもめている。	4.2%	19.6%	38.8%	37.4%
22	言い方	物を運んでいるとき、AさんがBさんから「ちゃんと持ってよ！」と強く言われて、もめている。	5.7%	15.4%	27.3%	51.7%
23	ルールやマナー	AさんがBさんに「一緒に遊ぼう」と言ったときに、断られてもめている。	6.1%	13.6%	26.8%	53.4%
24	誤解・いちがい	最初は、2人でふざけて遊んでいたがいつの間にか本気になって、AさんとBさんがもめている。	6.6%	12.7%	24.1%	56.6%
25	ルールやマナー	Aさんが授業で2人組をつくるときに「一緒にしよう」と言ったら、Bさんに断られてもめている。	5.9%	13.3%	26.8%	54.0%
26	したくないこと	掃除のバケツをAさんもBさんも片付けたくなくもめている。	5.4%	13.5%	29.8%	51.3%
27	したいこと	特別教室のかぎを自分が取りに行きたいと言って、AさんとBさんがもめている。	5.7%	13.0%	23.9%	57.3%
28	言い方	Aさんが「トランプをしたい」と言ったら、Bさんが「いや」と言ってもめている。	4.3%	14.1%	23.9%	57.8%
29	誤解・いちがい	通りすがりに机にぶつかったとき、わざとぶつかったかわざとではなかったかで、AさんとBさんがもめている。	4.5%	9.4%	27.1%	59.1%
30	したくないこと	日直の仕事もAさんもBさんもしなくもめている。	6.9%	15.6%		75.6%
31	誤解・いちがい	AさんがBさんの牛乳を配り忘れたとき、Bさんが「わざと配らなかった」と言ってもめている。	1.9%	5.2%	14.3%	77.7%
32	したいこと	掃除中、AさんがトイレトペーパーをBさんより先に取りに行ったことでもめている。	2.9%	5.1%	11.7%	81.5%

* 「よくある」と「ときどきある」の合計の多い順に並べている。
数値は小数第二位で四捨五入している。

0% 50% 100%

質問① もし、①～⑳のトラブルがあったとしたら、あなたは「どうしたの？」と声を掛けることができるといいますか。

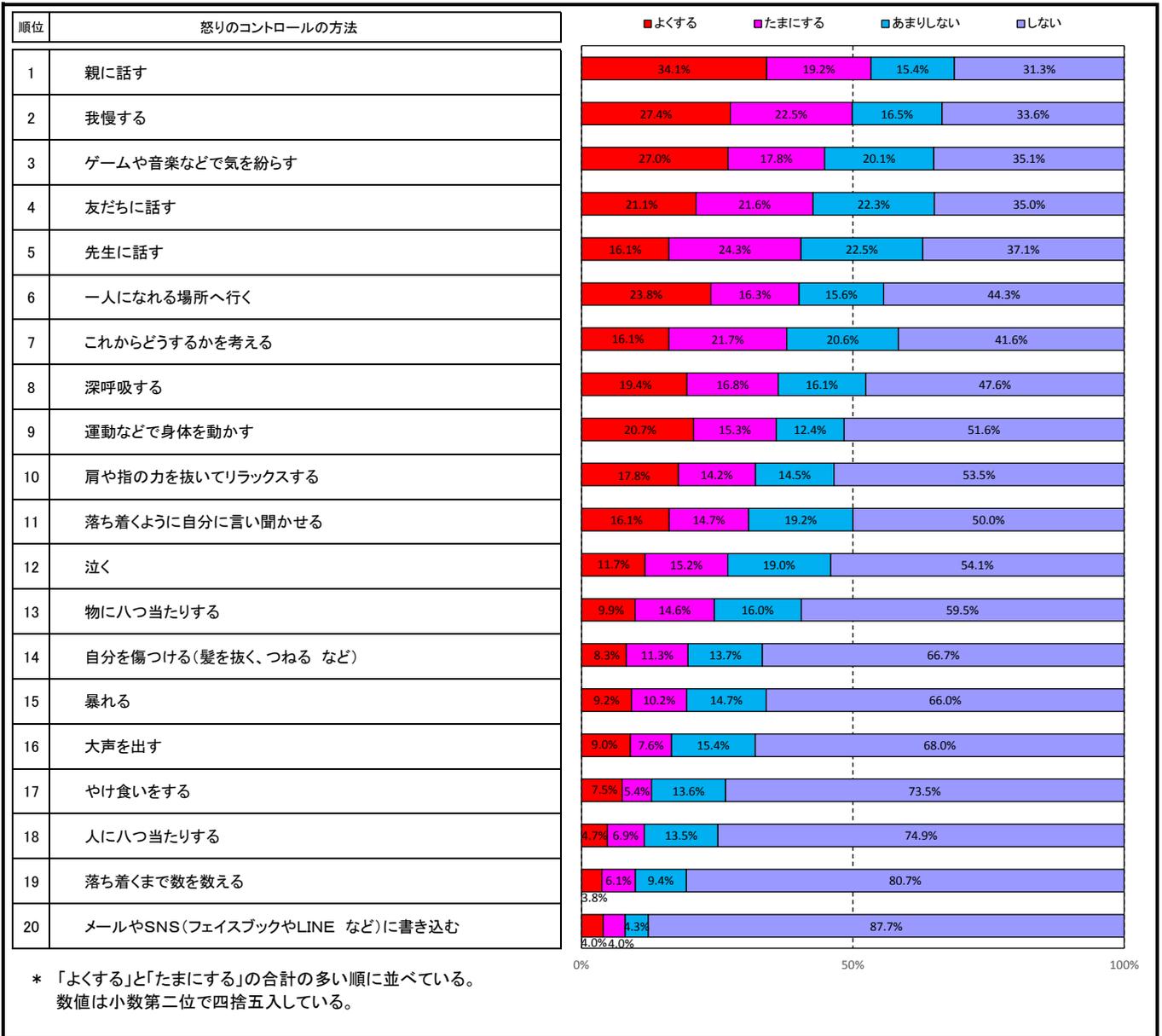


* 「思う」と「少し思う」の合計の多い順に並べている。
数値は小数第二位で四捨五入している。

0% 50% 100%

怒りのコントロールについて

質問 学校生活で友だちに腹が立って、イライラしたりムカムカしたりしたとき、あなたはどのようにしていますか。



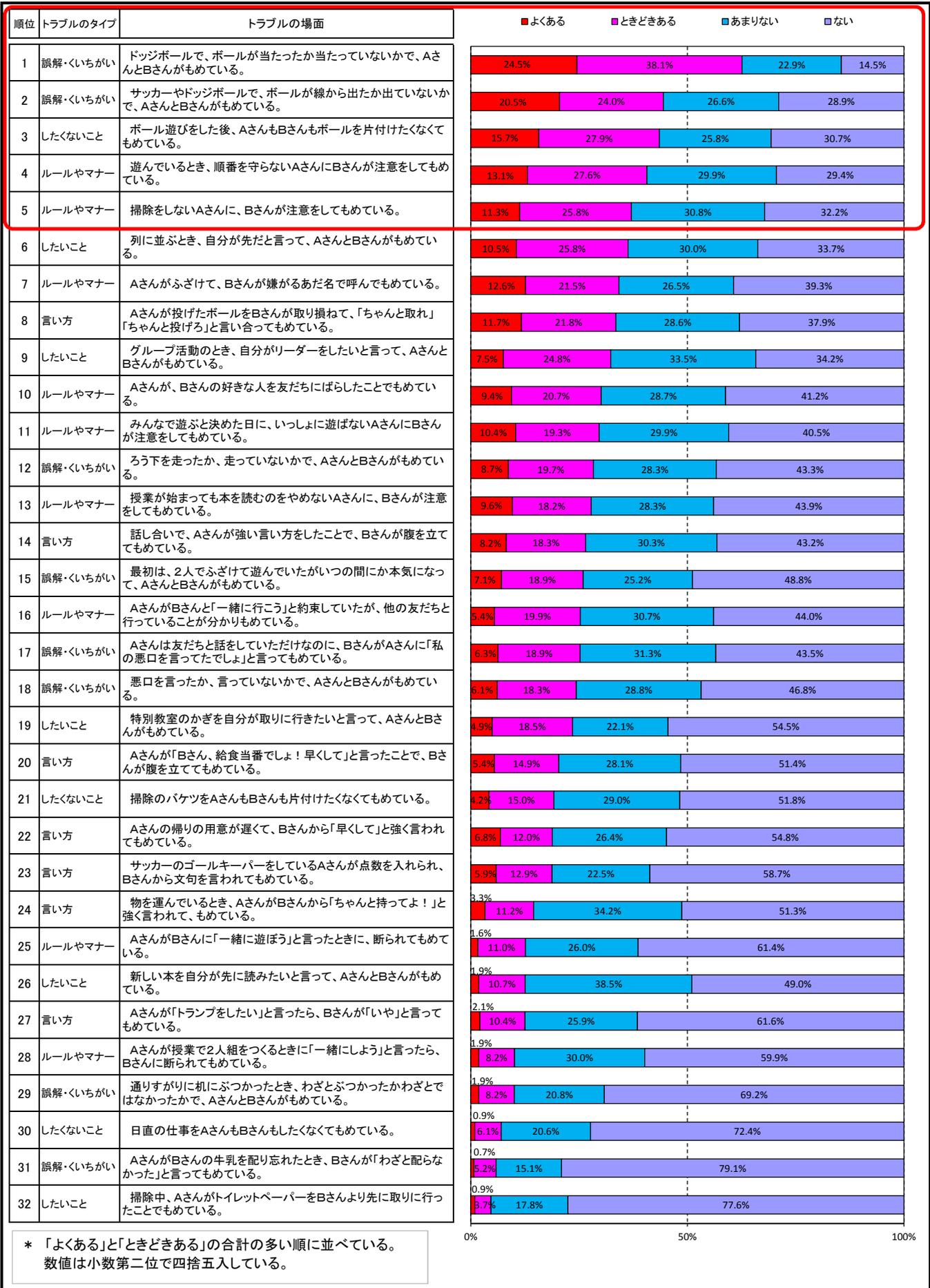
怒りをコントロールする方法として、他にもやっていることがあったら書いてください。

- | | |
|--|--|
| <p>寝る [14]
何かに没頭する</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵を描く [2] 本を読む [2] 宿題をする 歌を歌ったり踊ったりする 自由帳などにいろいろ書く 外で石を並べる じっくり花を見る <p>前向きに考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 普段通りに過ごす 目を閉じて楽しい事を考える ボーッとして忘れる <p>気分転換をする</p> <ul style="list-style-type: none"> 散歩する ゆっくり廊下や机の周りを歩く 服を替えて気分を変える <p>相手を攻撃する</p> <ul style="list-style-type: none"> あっかんべ〜をする 相手にふ〜んと言う 舌打ちをする 無視する しゃべらない 頭突きや体当たりをする | <p>相手に聞こえないように文句などを言う</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞こえないようにぶつぶつ嫌な事を言う 陰で友だちの悪口を言う 思った事を全部吐き出す 人の絵を描いてムカムカさせた人だと思って消しゴムで消す <p>遊ぶ [2]
落ち着く場所に行く</p> <ul style="list-style-type: none"> 机の下に潜る トイレに籠もる 部屋に閉じ籠もる ベッドの下に隠れる <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 飼っている犬に抱き付く [2] お母さんに抱き付く お気に入りの人形を触る 紙に文字を書いて一人になれるようにする |
|--|--|
- * []の中の数字は、同様の内容を回答した児童生徒数を表している。

<小学校5年生集計結果>

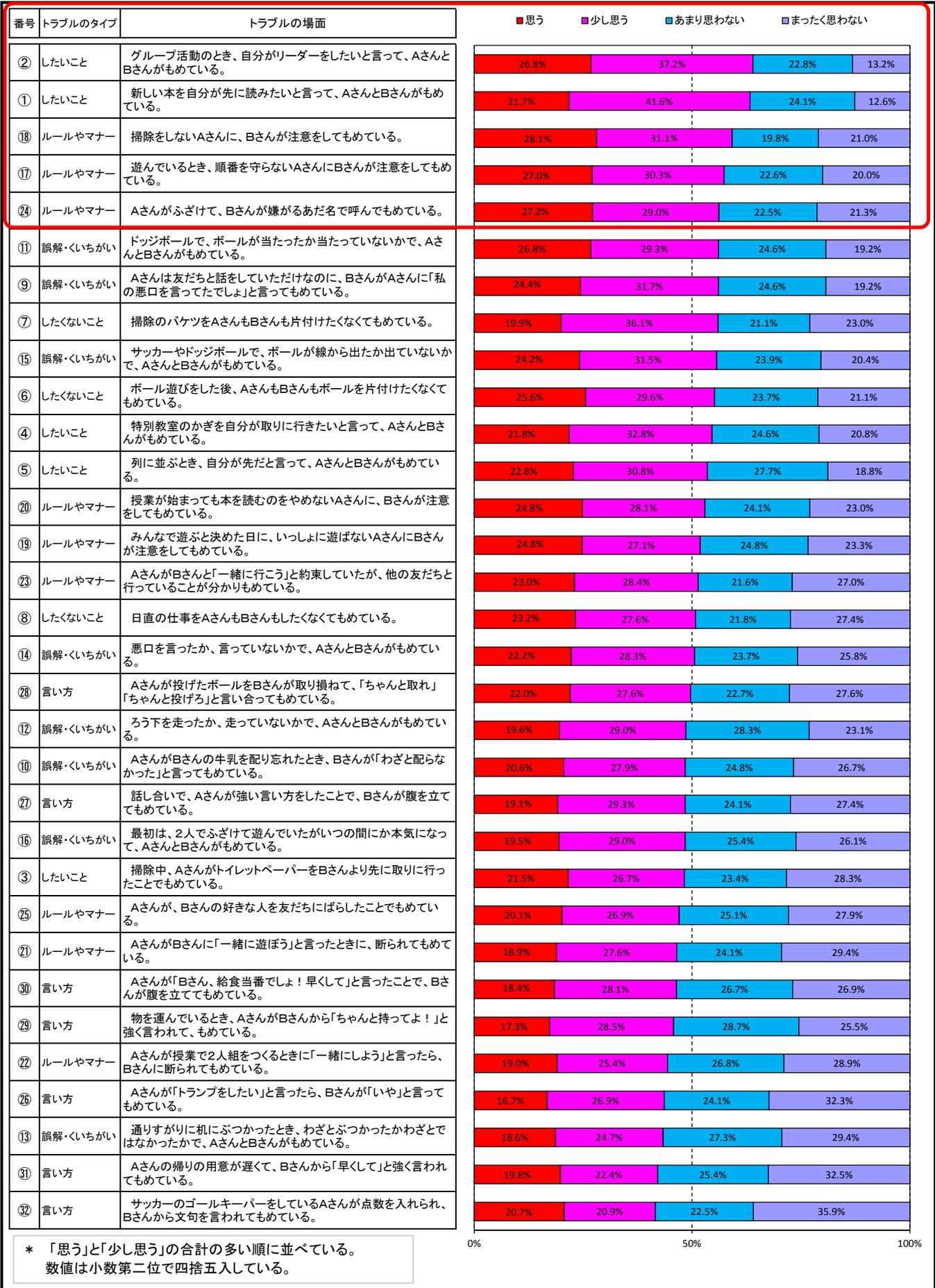
トラブルの場面について

質問② ①～⑳のトラブルの場面について、4月から今までのあなたの周りの様子を選んでください。



* 「よくある」と「ときどきある」の合計の多い順に並べている。
数値は小数第二位で四捨五入している。

質問① もし、①～⑳のトラブルがあったとしたら、あなたは「どうしたの?」と声を掛けることができると思いますか。

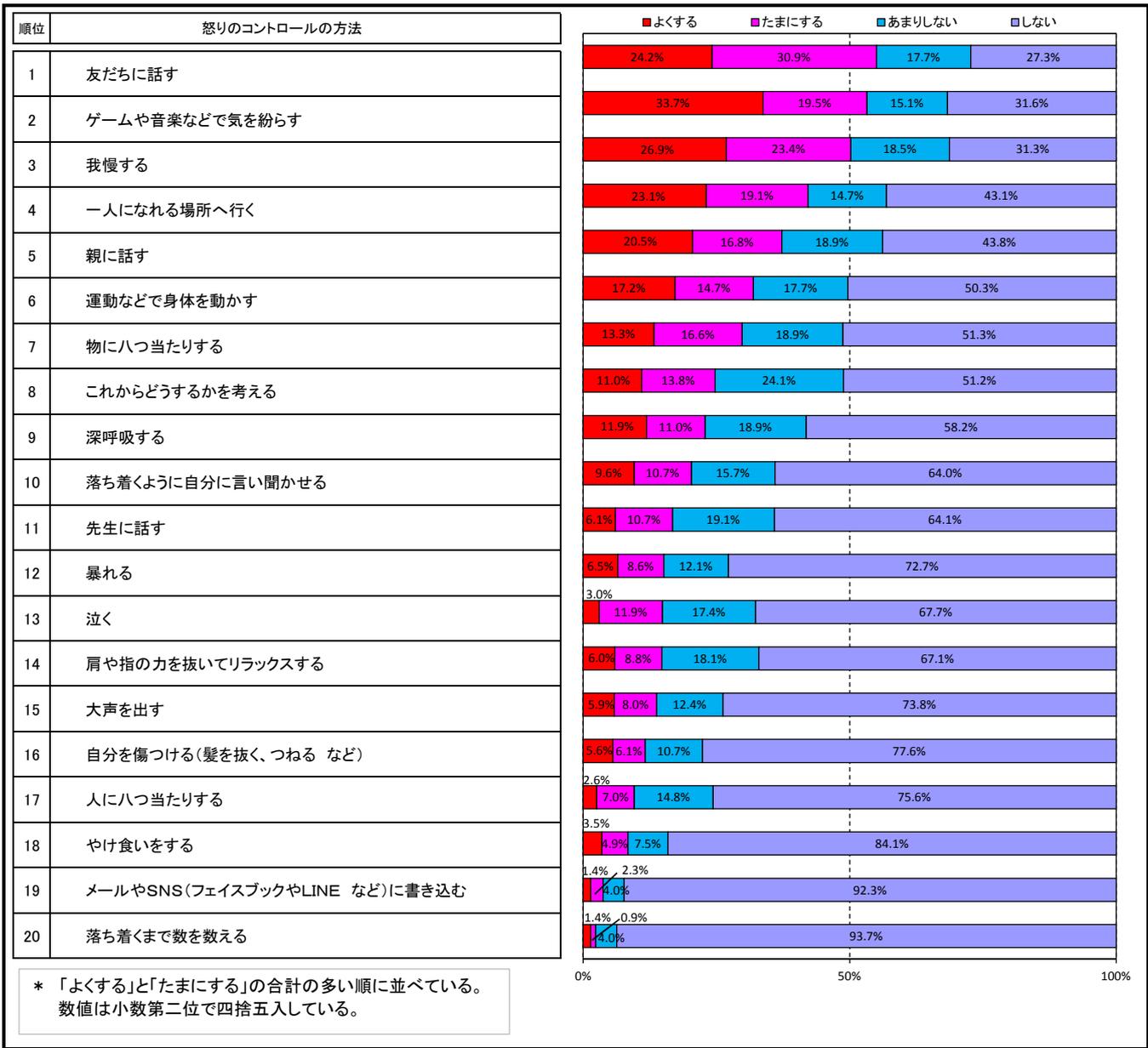


* 「思う」と「少し思う」の合計の多い順に並べている。
数値は小数第二位で四捨五入している。

0% 50% 100%

怒りのコントロールについて

質問 学校生活で友だちに腹が立って、イライラしたりムカムカしたりしたとき、あなたはどのようにしていますか。



怒りをコントロールする方法として、他にもやっていることがあったら書いてください。

- | | |
|--|---|
| <p>寝る [10]</p> <p>何かに没頭する</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな事をする [2] いろいろ何かをする 絵を描く 勉強をする 歌を歌う <p>前向きに考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 嬉しい事を考える 開き直る ポジティブである <p>自分の気持ちを絵や文章にする [7]</p> | <p>相手を攻撃する</p> <ul style="list-style-type: none"> イライラした原因の人を傷つける けんかする 言い返す 友だちの近くでわざと聞こえるように悪口を言う むかついた顔をする 無視する ため息を付く <p>遊ぶ [5]</p> <p>落ち着く場所に行く</p> <ul style="list-style-type: none"> 家に帰る 祖父母の家に行く 友だちの所に行く <p>すぐに謝って仲直りする [4]</p> |
|--|---|
- * []の中の数字は、同様の内容を回答した児童生徒数を表している。